

## 平成 27 年度第 2 回日進市保健センター運営協議会議事録

### <概 要>

日 時	平成 28 年 3 月 18 日（金曜日）午後 1 時 30 分から午後 2 時 35 分まで
場 所	日進市保健センター2 階会議室
出席者	（委員 9 名） 岩崎聖雄（医師）、宮脇利明（歯科医師）、山田翔（歯科医師）、坂野紘（保健センター診療管理者）、田中八隆（日進市社会福祉協議会長）、市川豊（あいち尾東農業協同組合日進地域総括理事）、岩月ミサヲ（日進市地域女性団体連絡協議会会長）、市川みどり（学識経験者）、齋藤信子（公募市民）（順不同）
欠席者	3 名
事務局	山中和彦（健康福祉部長）、小塚多佳子（健康課長）、伊東あゆみ（同課主幹）、牟田貴子（同課課長補佐）、西尾直樹（同課保健企画係長）、近野友美（同課母子保健係長）、小川まゆみ（同課成人保健係長）、藤井明子（同課成人保健係保健専門員）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	無

### <内 容>

#### 1 あいさつ

保健センター運営協議会長あいさつ

#### 2 議 題

会 長： それでは、議題(1)から一括してお願いします。

事務局： 議題(1)平成 27 年度事業実施状況について説明。（資料No.1、2、3、4）

会 長： 質問がありましたらお願いします。

委 員： 資料No.1 について、妊婦健診は 13,837 件で、妊産婦歯科健診は 468 件ということだが、対象者はどのくらいなのか。

事務局： 妊婦健診は 14 回行った延べ件数です。出生数が約 1,000 人なので、妊産婦歯科健診の対象者はそのくらいとなります。

委 員： 次回からは受診率も記載してもらえたらと思う。受診率を上げるために、啓発をしっかりとやってほしい。資料No.3 の歯周疾患検診の受診率は何%か。

事務局： 平成 27 年度の見込みは 11.5%、平成 26 年度は 10.3%でした。

委員： こちらも受診率を上げるために、がん検診のように色々と取組みをお願いしたい。歯周疾患検診の対象とならないような人、例えば 20 代の人などは親元から離れて独立してから歯周疾患になり、将来高齢者になったら困る人もいると思う。こういった人にも検診が入るとよいと思う。

委員： 『野菜を食べようキャンペーン』の説明があったが、小さい子どもなどがあまり野菜を食べていないのではと思っている。農協とタイアップして、日進の野菜を使って健康づくりを推進してもらえたらと思う。

委員： 農協としても機会があればぜひ参加したいと思っている。

事務局： 食育については、離乳食講習や健診の際に栄養士がスタッフに加わり話をしています。愛知県は野菜の摂取量が一番低いという統計資料があります。市としては食育計画を産業振興課が推進し、健康課のほか、学校給食センターや保育園の栄養士も参加し取り組んでいます。地産地消についても、産業振興課が農協の協力で進めていくということがあるかと思います。

委員： 離乳食講習はどれにあたるか。

事務局： 資料No.1 の 10 か月なかよし教室と 3～4 か月児健診、1 歳半児健診、3 歳児健診などで離乳食など食事の話をしています。健診には問診の項目があり、食事の悩みについて保健師のアドバイスや栄養士の相談を行っています。

委員： その中に歯科は入っているか。

事務局： 1 歳半児健診と 3 歳児健診で歯科医や歯科衛生士に入ってもらっています。

委員： 離乳食や授乳の仕方が歯並びに大きく影響してくる。そういったところに歯科が入ったらと思う。

また、成人歯周疾患検診については、やはり歯がないと食べられなくなるし、全身的疾患、特に糖尿病との関連は深いと言われている。栄養が関連する疾患は歯科が関わってくると思う。歯がしっかりしていないと全身的な疾患を招くといった啓発をしてみたら違った切り口になるかと思う。

事務局： 母子保健では、こんにちは赤ちゃん訪問事業の出産記念品で、親子向けに歯ブラシとチラシを配布しています。

また、成人歯周疾患については、『ヘルピー健康だより』で、歯と全身疾患の関わりなどについて作成したものを今年読みやすく修正し配布しました。分かりやすくなったという反響も少しありましたので、引き続き周知の工夫をしていきたいと思っ

ています。

委員： 20代の検診を豊明市は来年度から実施すると聞いている。

委員： 健康・福祉フェスティバルの歯科ブースは参加者が少ない気がするが、当日の様子はどうだったか。

事務局： 参加者が少なく見えますが、幅広い年齢層の人がみえました。人前で口を開けることに抵抗があった人もいて、それで歯科相談につながらなかったということはあるかもしれませんが、参加者が少なかったということはないと思います。

会長： 他に質問がないようですので、議題(2)平成28年度事業計画案について説明してください。

事務局： 議題(2)平成28年度事業計画案について説明。(資料No.5、6)

会長： 質問がありましたらお願いします。

委員： にっしん健康マイレージについて、提出先は保健センターのみか。市役所には行くが保健センターには行く機会がないという人もいると思うので検討してもらえると利用率も上がると思う。

事務局： 提出はメールや郵送でも受付する予定です。

委員： 高齢者だとメールに馴染みがないので、市役所でも受け付けてもらえるといいと思う。

事務局： 保健センターを想定していましたが、ご提案について検討します。

委員： 健康マイレージのポイントはお金やグッズに交換できるものなのか。

事務局： 50ポイント貯まったらまいかカードと交換していただきます。交換したカードで、協力店で特典が受けられる事業です。

委員： 協力店は商工会になるのか。

事務局： 愛知県の事業なので、愛知県内の協力店になります。市内にもチェーン店などで、すでに協力店になっているところもあります。

委員： リストは公開されているのか。

事務局： ホームページで公開されています。

委員： ホームページだと高齢者が見づらいので、カードを交付する際などに一覧表をつけてもらえたらと思う。

委員： 商工会にもこぞって参加してもらえたらと思う。

事務局： 商工会の事務局には制度の説明に行っています。個々のお店については商工会の力も借りて広げていければと思います。

委員： 先日のスポーツフェスタのウォーキングに参加したが、健康課が担当だったのか。とても良かった。

事務局： 健康課はにしん体操で協力させていただきました。主催は日進市と日進市教育委員会になります。

委員： 歯科が関連しそうな事業が結構あるが、実際にはあまり関わっていないという印象がある。歯科が入ることで解決するものもあると思うがどうか。10か月なかよし教室や乳幼児健診などに参加するのがよいと思うが。

事務局： どの時期に歯科に入ってもらうのが一番効果的かも含めて歯科医師と相談できればと思います。

委員： 1歳半よりも前に関わる機会があるとよいと思う。2歳になると歯もそろってきてしまっている。診療の場で話をすると、親から、話が聞けてよかった、初めて聞いた、という声もある。全体に発信できる場があればいいのではと思う。そういったことからすると事業でいえば10か月くらいがよいかと思う。

事務局： いただいた意見を参考にさせていただき、また、歯科医師会の皆様のいろいろな意見をお伺いしながらお話ができればと思います。

委員： 講演会などの際に、くるりんばすの時間が合わないという話を人から聞きました。また、保健センターに親しみを持ってもらうために、健診や講演会だけでなく、センターを利用した楽しいイベントをしてはという話も聞いたので、ここでお伝えしておきます。保健センターを知らない人も多いかと思うので、市民の方が保健センターに来てもらえるような、そんなイベントがあったらということでしたのでお伝えします。

事務局： ご意見としてお伺いいたします。

会 長： 他に質問がないようですので、議題 3 その他について事務局何かありますか。

事務局： 特にありません。

会 長： それでは、本日の平成 27 年度第 2 回保健センター運営協議会について終了します。

(午後 2 時 35 分終了)